

二〇一七年九月二十九日

吟行子 枯蟪蛄 対しけり
運動会 宣誓の児の背ナ反らせ
祭果て夜宮にのこる火薬の香

はく子
たか子
なつき

二〇一七年九月二十八日

せせらぎの畔を綴る草もみじ
推敲の一文 字決まる秋灯下

智恵子
たか子

二〇一七年九月二十七日

登校子らの列 見守る案山子かな
スタートの揃はずもよし運動会
魁は雑木 隠れの櫨紅葉
ひるがへりつつ峠越ゆ秋燕
新藁や手が憶えゐし草履編み

三 刀
せいじ
せいじ
さつき
治 男

二〇一七年九月二十六日

お神酒注ぐ巫女のかんざし 秋日跳ぬ
吾とわが影法師とが秋耕す
日曜も早起きせよと鵲叫ぶ
びりの子を励ます拍手運動会
秋航の白き水尾引く海ま青

なつき
三 刀
さつき
せいじ
恵 三

二〇一七年九月二十五日

秋天へ駆けのぼらんと神馬像
駆け回る写真係や運動会
長持ちを担いで跳ねる祭足袋
雨晴れてより蜻蛉の空となる
田仕舞の煙たなびく里山路

菜々
せいじ
なつき
三 刀
こすもす

二〇一七年九月二十四日

水車小屋朽ちて久しや水引草
おちこちに靛焼く煙道の駅

たか子
よう子

二〇一七年九月二十三日

帰り花元気だせよと語るやに
谷戸ゆくや右手に左手に稲架襖
峡の日のつるべ落ちしや露天風呂
根が岩を噛む老松に天高し
婚の列いゆくなぞへに曼殊沙華

明日香
隆 松
ともえ
はく子
なつき

毎日句会みのる選・二〇一七年一〇月一日